

平成30年度 東京都環境マネジメントシステム

日常業務活動に関する目的・目標・プログラムの実施状況管理結果

【廃棄物】 環境目的：庁内廃棄物を減量する。  
リサイクルを推進する。

局	部	目標	前年度実績	平成30年度	達成度
			平成29年度実績(t)	実績(t)	
総務局	大島支庁	廃棄量を前年度実績の100%以下にする。	10.3	5.7	A
	三宅支庁	日常業務における廃棄量削減に努める。	14.4	14.0	A
	八丈支庁	前年度と同水準の発生量を目指す。	6.43	7.37	B
	小笠原支庁	リサイクルを推進し、ゴミ排出量について前年同レベルを維持する。	8.5	8.5	A
	局計		39.63		
財務局	(新宿庁舎全体)	新宿庁舎の事業所系ごみの発生量について、29年度水準の10%増以内とする。	2174	1892	A
	(新宿庁舎全体)	新宿庁舎の事業所系ごみのリサイクル率について、88%以上を目標とする。	94.2%	92.0%	A
主税局	(出先機関全体)	前年度廃棄量以下に抑える。	158.5	168.9	B
生活文化局	(出先機関全体)	前年度の水準を維持する。	12.880	33.820	B
都市整備局	第一市街地整備事務所	前年度より廃棄量を削減する。	18.1	24.7	B
	第二市街地整備事務所	前年度廃棄量の維持に努める。	4.2	4.0	B
	多摩ニュータウン整備事務所	前年度より廃棄量を5%削減する。	2.71	0.72	A
	局計		25.01	29.42	
福祉保健局	西多摩保健所	前年度以下に排気量を減らす。	2.139	2.012	A
	南多摩保健所	廃棄物排出量を前年度から5%削減する。	1.60	1.08	A
	多摩立川保健所	平年の水準(2.0t程度)を維持する。	3.812	2.875	B
	多摩府中保健所	前年度の水準を維持する。	2.184	1.591	A

局	部	目標	前年度実績	平成30年度実績(t)	達成度
			平成29年度実績(t)		
福祉保健局	多摩小平保健所	廃棄物の排出量を前年度よりも削減する。	2.155	2.062	A
	島しょ保健所大島出張所	昨年度に引き続き、1t未満の廃棄量を維持する。	1	1	A
	島しょ保健所三宅出張所	前年度以内の排気量にする。	1.49	1.47	A
	島しょ保健所八丈出張所	廃棄物を前年より増やさない。	1.2	1.2	B
	監察医務院	前年度排出量を超えないようにする。	4.1	3.7	A
	広尾看護専門学校	廃棄物区分の明確化	2.7	3.1	B
	荏原看護専門学校	前年度の廃棄量を維持する。	15.8	13.5	A
	府中看護専門学校	前年度の廃棄量の水準を維持する。	3.114	4.55	B
	北多摩看護専門学校	前年度の廃棄量の水準を維持する。	2.31	3.047	B
	青梅看護専門学校	学校外からの持込みゴミをなくす。分別を徹底する。	3.15	2.82	A
	南多摩看護専門学校	前年度の水準を維持する。	1.5	1.57	B
	板橋看護専門学校	前年度廃棄量を維持できるよう努める。	2.652	3.660	B
	児童相談センター	可燃ごみ1%以上の削減	16.2	10.5	A
	北児童相談所	所内廃棄物分別・削減に努める。	1.2	1.54	B
	品川児童相談所	職員の増加等に伴い廃棄物も増加するが、前年度水準を維持する。	0.68	0.94	A
	立川児童相談所	庁内廃棄物の削減に努める。	10.4	10.99	B
	杉並児童相談所	事業所内廃棄物の減量に努める。	5.53	5.35	A
	江東児童相談所	前年度と同等程度の廃棄物量を目指す。(所の人員が増加しているため、一人当たり廃棄量の減少を目標とする。)	40.7	6.7	A
	小平児童相談所	廃棄物の量を削減する。	0.64670	1.220	B

局	部	目標	前年度実績	平成30年度実績(t)	達成度
			平成29年度実績(t)		
福祉保健局	八王子児童相談所	前年度廃棄量の2割増(5.014t)までとする。(事務所移転準備により廃棄物増が見込まれるため)	4.179	3.586	A
	足立児童相談所	昨年度実績内に収めるように廃棄物の減量に努める。	13.20	11.0	A
	多摩児童相談所	前年度廃棄量を超えないように努める。	1.8	1.6	A
	世田谷児童相談所	人員等増加の中困難であるが、前年度と同水準とする。	8.05	8.12	B
	誠明学園	前年度と同等を維持する。	17	17	A
	萩山実務学校	可燃ごみの廃棄量を前年度実績 $\geq$ とする。	11.8	12.1	B
	女性相談センター	前年度1%減量する。	10.9	11.7	C
	女性相談センター多摩支所	前年度よりも3%程度削減する。	0.080	0.09	B
	障害者福祉会館	前年度以下の廃棄量とする。	1.7	2.9	B
	北療育医療センター	分別収集を徹底し、リサイクルを推進する。	109.7	99.1	A
	北療育医療センター城南分園	一般廃棄物の減量に取り組む。	6.8	6.2	A
	北療育医療センター城北分園	前年度の廃棄量を超えないよう努める。	9.1	7.37	A
	多摩療育園	再利用、分別を徹底し無駄をなくす。廃棄物減量に努める。	5.20	4.49	A
	府中療育センター	所内廃棄物を昨年度同量程度に抑える。	199	198	A
	中部総合精神保健福祉センター	前年度以下の廃棄量とする。	2.8	2.7	A
	多摩総合精神保健福祉センター	前年度の廃棄量を維持する。	0.92	1.00	A
	精神保健福祉センター	前年度の廃棄量を維持する。	3.80	3.71	A
	健康安全研究センター	廃棄物量を昨年度並みとして、よりリサイクルの徹底を図る。	69.4	65.9	A
	市場衛生検査所	昨年度の排出量を維持、または減量する。	1.36	1.80	B
	芝浦食肉衛生検査所	前年度以下に抑える。	1.980	2.31	B
動物愛護相談センター	前年度の廃棄量を維持する。	1.36	1.74	C	
動物愛護相談センター多摩支所	前年度以下に抑える。	1.84	1.09	A	
	局計		608.22	550.00	

局	部	目標	前年度実績	平成30年度実績(t)	達成度
			平成29年度実績(t)		
産業労働局	(出先機関全体)	リサイクル等を推進し、廃棄物量の抑制に努める。	14.580	15.29	B
建設局	(出先機関全体)	ゴミ排出量を162t以下にする。	162	157	A
港湾局	(出先機関全体)	前年度の廃棄量を維持する。	47.34	26.57	A
教育庁	教職員研修センター (東部学校経営支援センターを含む)	廃棄量を前年度から3%削減する。	4.630	7.12	C
	都立中央図書館	ごみの分別を図り、リサイクル化を進める。。	14.4	12.0	A
	都立多摩図書館	ごみの分別を図りリサイクル化を進める。	2.8	3.3	B
	局計		21.83	22.42	
警視庁		前年度の実績を維持する。	440	355	A
消防庁		廃棄物の量を前年度より減らす。	128.2	125.5	A
		廃棄物の分類を徹底し、リサイクル率を上げる。	83%	86%	A
総計			3832.19	3376.02	